

グローバルマネジメント研修(リモート編)

～海外赴任者に共通して求められる能力とは?～

グローバル × マネジメント × リモート

■「リモート」で「グローバル」を「マネジメント」するには？

リモートワークに加え、既に常識となっているグローバル化。「リモート」で、「海外（グローバル）」に「マネジメント」できる力が求められる時代に、私達はどのようなスキルを身に付ければよいのでしょうか。

■あなたの対応力は？リモートワーク・自己チェック10のポイント

昨年末から急速に感染拡大し、世界的に甚大な影響を及ぼしているコロナウイルス感染症。それに伴い在宅・リモートワークの必要性が騒がれていますが、「果たして自己流のリモートワークで大丈夫なのだろうか」と不安を感じている人も多いのではないのでしょうか。

自分のリモートワークを自己チェック☑できる、10のポイントをご紹介します。

- 自社制度への理解：リモートワーク以外にもフレックスタイム、各種手当等への理解をしているか
- 情報システムへの理解：システムの機能、セキュリティ等への理解をしているか
- コミュニケーション：上司、同僚、部下とのコミュニケーションの質・量は適切か
- 業務プロセス：アウトプットの質・量、生産性は適切か
- 自律性：業務プロセスを進めるにあたり、自らPDCAを回しているか
- 支援要請：上司による支援を必要に応じ自ら要請できているか（長時間考え込みすぎてしまう、沈黙・声を掛けられるのを待つ姿勢となっていないか）
- 顧客対応：顧客満足度は高まっているか（いる／いない場合、具体的にどの部分か）
- 働き方：自らの働き方に対する満足度は高まっているか（いる／いない場合、具体的にどの部分か）
- 生活：自らの生活（自己研さん、趣味、家族との時間等）に対する満足度は高まっているか（いる／いない場合、具体的にどの部分か）
- 挑戦：リモートワークを機会とし、新たな取り組みを検討・実施しているか

■グローバルマネジメント研修（リモート編）開催概要

【講師】 グローバル人材戦略研究所 代表 小平達也

【対象者】 海外赴任予定者、海外出張者など海外スタッフのマネジメントに関係する方々
（リモートマネジメント含む）

【日時】 2020年6月25日（木）10:00～16:00

■当研修の目的

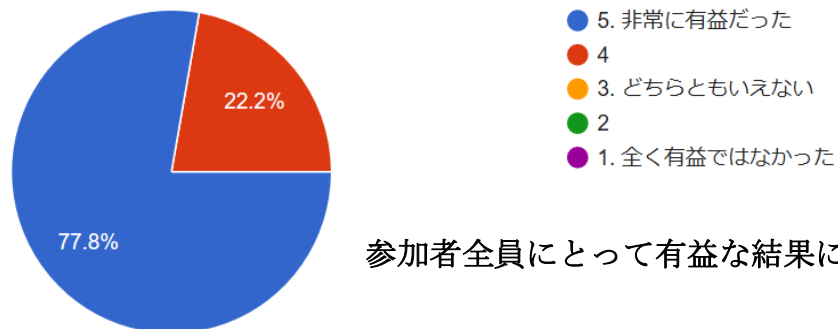
- ・国内外においてマネージャーに求められる能力を理解する。
- ・外国人社員をマネジメントする際に求められるコミュニケーションとリモートワークにおけるテクニックを学習し身につける。
- ・方針をマネジメント持論としてまとめ、マネジメント能力遂行のための軸を確立する。

■実施内容（プログラム）

- ・オリエンテーション
- ・上司に求められるマネジメント・テクニック①「違い」を理解する
- ・上司に求められるマネジメント・テクニック②「違い」への対応
- ・上司に求められるマネジメント・テクニック③「違い」を価値創造（競争力）に変える
- ・リモートワークのマネジメント
- ・マネジメント持論作成・まとめ

■参加者の声

講座全体についての感想をおきかせください（番号を一つ選んでください）。



参加者全員にとって有益な結果に

（コメント ※一部抜粋）

「リモートでのインタラクティブな研修を受講したのは今回が初めてですが、投票機能やサブグループでのディスカッションなどがとても効率的な機能だと実感しました。」

「マネジメントに関する知識を習得でき、リモートであっても他社の方との交流で新たな気付きがありました。」

「オンライン研修のメリットを理解できた。別途、雑談などの機会が持てれば、尚よかったです。」

■「リモート」においても「インタラクティブ」な進行を実現

一般的に、受動的な参加になりがちなりモート研修ですが、グローバル人材戦略研究所がインタラクティブな進行を実現するために行っている進行上の工夫点をご紹介します。

①グループチャット

Zoom「チャット機能」を使用し、講師からの問いかけに対し参加者が直接回答できるようにしています。

②ブレイクアウトセッション

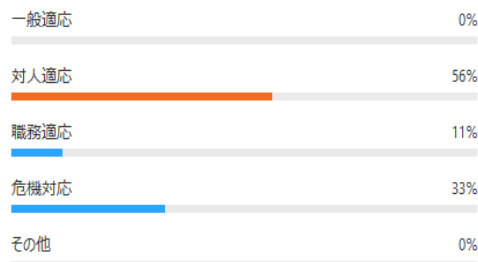
参加者を少人数に分け、グループワークを行います。少人数グループのため全員が発言しやすく、他の参加者との積極的な交流をはかれます。

③投票

研修の進行にあわせて、投票テーマを予め準備。投票を実施した上でディスカッションをしていきます。

ホストが投票結果を共有しています

1. 4つの適応を踏まえ、一番きつかったのは（未経験の方は想像でOK）（1つの選択肢）



↑当日実施した「投票」の例。興味深い回答をした参加者にはエピソードを紹介してもらったりなどして、対面さながらのライブ感がある研修となりました。

■参加企業実績（順不同）※集合型を含みます

<p><金融・保険> SMBC コンシューマーファイナンス株式会社 第一生命保険株式会社 三菱UFJ国際投信株式会社 GMOクリックホールディングス株式会社</p> <p><自動車・機械> 日産自動車株式会社 株式会社デンソー マツダ株式会社 スズキ株式会社 株式会社ユニバンス 三菱日立パワーシステムズ株式会社 住友重機械工業株式会社 セイコーエプソン株式会社 メタウォーター株式会社 日本モレックス合同会社 株式会社クボタ</p> <p><電機・精密機器> パナソニック株式会社 株式会社リコー 富士通株式会社 株式会社FUJITSUユニバーシティ 富士ゼロックス株式会社 アルプス電気株式会社 株式会社トプコン 日本信号株式会社 株式会社大真空 日本ガイシ株式会社</p>	<p>ミネベアミツミ株式会社 サンデンホールディングス株式会社 住友電装株式会社 リョービ株式会社 日置電機株式会社</p> <p><総合商社> 丸紅株式会社 双日株式会社</p> <p><流通・外食> 興和株式会社 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 株式会社ニトリホールディングス株式会社 俄</p> <p><建設・不動産> 大成建設株式会社 西松建設株式会社 日揮株式会社 富士古河E&C株式会社 株式会社ウッドワン ティ・エステック株式会社 六興電気株式会社</p> <p><食品> 日清食品ホールディングス株式会社 株式会社 明治 サントリーホールディングス株式会社</p>	<p>サントリー食品インターナショナル株式会社 サントリースピリッツ株式会社 ハウス食品グループ本社株式会社</p> <p><生活用品> 花王（中国）投資有限公司 日本コルマー株式会社 シミックホールディングス株式会社 フォーデイズ株式会社 株式会社ムロコーポレーション ショーワグローブ株式会社 小林製菓株式会社 中外製菓株式会社 協和発酵キリン株式会社 トッパン・フォームズ株式会社 王子インターパック株式会社 株式会社キッツ</p> <p><金属・資源> JX金属株式会社 JFEスチール株式会社 日立金属株式会社 YKK株式会社</p> <p><化学> 住友化学株式会社 日本カーバイド工業株式会社 日本ペイントホールディングス株式会社 綜研化学株式会社 東レ株式会社</p>	<p><情報・通信インターネット> KDDI株式会社 日本電信電話株式会社 NECソリューションイノベータ株式会社 株式会社バンダイナムコスタジオ 新日鉄住金ソリューションズ株式会社 東芝クライアントソリューション株式会社 東芝テック株式会社 株式会社野村総合研究所 ソフトバンク株式会社 サイバネットシステム株式会社 株式会社プロシッパ</p> <p><運輸・物流> 日本通運株式会社 ヤマト運輸株式会社 新日鐵住金株式会社 株式会社日立物流</p> <p><その他サービス> 凸版印刷株式会社 アビームコンサルティング株式会社 MHIアカウンティングサービス株式会社 株式会社乃村工藝社 株式会社グリーン・フードマネジメントシステムズ 藤田観光株式会社株式会社 ジェイエイアイコーポレーション</p>
---	---	--	---

グローバル人材戦略研究所

〒106-0031 東京都港区西麻布1-14-5 永都ビル西麻布

[TEL] 03-3403-0528 / [Mail] info@ja-sol.jp / [WEB] http://www.ja-sol.jp/